（1962年3月7日 第3種郵便物認可）西鉄組合新聞　（毎月1日発行）

Nishitetsu Kumiai Press

2022.7.1　Vol.1729　7月号

西鉄組合新聞

【発　行　所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931　西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬 直之
定価 1部 30円 送料共
（この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。）
西鉄労組ホームページ（http://nnr-u.org）▶

私鉄総連準組織内候補　前・衆議院議員

比例区は つじもと清美

第26回参議院議員選挙（比例区）準組織内推薦候補

6月23日（木）より期日前投票開始

働く仲間のいのちと暮らしを守り公共交通で地域を元気にします！

「つじもと清美」氏は、私鉄総連組織内議員である「森屋隆」参議院議員が誕生するずっと前から、公共交通を守る活動を続けてきました。「交通政策基本法」の成立をはじめ、バスに関する行き過ぎた規制緩和の是正、鉄道駅のバリアフリー化促進、ビザ要件の緩和や観光立国推進など、長きにわたり、私鉄総連の運動を支えていただいています。

また、「つじもと清美」氏は、私たち働く者や弱い立場の人に寄り添った議員活動を常におこなってきました。「つじもと清美」氏は、コロナ禍でエッセンシャルワーカーに注目が集まる中、**「交通従事者は、エッセンシャルワーカーを運ぶエッセンシャルワーカー」**と国会で発言しました。この言葉は、私たちの職場に直接足を運び、私たちの職場に寄り添う「つじもと清美」氏だからこそ、できる発言です。

交通政策を進展させるとともに、私たちの生活に密着した様々な課題を克服していくためには、私たちの声を国会に届けてくれる議員が必要不可欠です。私たちの職場と生活を守るため、「つじもと清美」氏に想いを託し、一緒に明るい未来をつくっていきましょう。

プロフィール

1960年　奈良県生まれ、大阪育ち。早稲田大学教育学部卒業
1996年　衆議院選挙で初当選
2009年　国土交通副大臣（運輸・交通・観光・危機管理担当）
2017年　女性初の国対委員長（野党第一党）を歴任。衆議院議員7期務める
現在、立憲民主党参議院比例第20総支部長

メッセージ

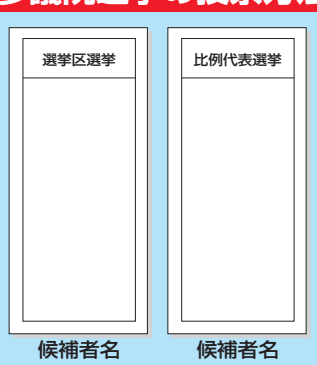
すべての人が安心して働き、暮らせる社会をつくりたい。
地域の経済や若者の未来をまもり育てたい。
そのためには、人にも地球にも優しい公共交通がカギとなります。「つじもと清美」は、全国の働く仲間のために、全力で働きます。

両方とも「候補者名」を書いて投票しよう！

★「個人名」をより多く書いてもらった順に当選!!

参議院選挙の投票方法

■選挙区
「候補者名」を書く



■比例区
「候補者名」を書く
※政党名でも投票できます

「期日前投票」を活用しよう！

投票日に投票しようと思ったら、当日、急な用事で投票できず…。そんなことにならないように、組合では期日前投票による確実な投票をお願いしています。

★ 期日前投票期間：
6月23日（木）～7月9日（土）

★ 投票時間：
午前8時30分～午後8時

★ 投票場所：
市区役所・町村役場・出張所など

※一部の期日前投票所では、投票時間が異なる場合があります。詳しくは、お住いの市区町村の選挙管理委員会までご確認ください。

福岡選挙区は

西鉄労組組織外推薦候補

古賀ゆきひと
（立憲民主党・現1期）

第9回中央委員会

■開催日：6月21日（火）
■場　所：組合本部

「運行復旧手当の新設」原案どおり決定

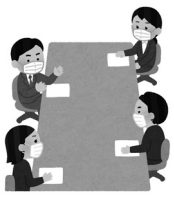
6月21日、組合本部で、第9回中央委員会を開催し、中央委員・特別中央委員ほか約60名が出席。一般会務について報告するとともに、「運行復旧手当の新設」を原案どおり満場一致で決定した。

※決議内容の詳細は「かべ新聞第9号」参照（分会掲示板、イントラネットの西鉄労組掲示板に掲載）

会議風景

総労働時間短縮に向けて鋭意協議中

6月16日と22日、西鉄本社で、「要員管理の在り方など総労働時間短縮に向けた労使検討委員会」を開催した。自動車部門（16日）と鉄道部門（22日）に分かれて、前回の意見交換で出された諸課題を踏まえ、協議をおこなった。



私鉄総連 第4回中央委員会

■開催日：6月8日（水）
■場　所：石川県

総連、2022年度運動方針（案）決定

総連は、6月8日、石川県で、第4回中央委員会を開催し、7月13日からの「第89回定期大会」で審議される「2022年度運動方針（案）」を決定した。また、同日、「つじもと清美」総決起集会」も開催。「つじもと清美」氏は、日ごろからの支援に謝意を示すとともに、「皆さんと一緒のこの国の政治を変えていきたい」と力強く決意を述べた。

「私鉄総連2022年度運動方針（案）」※一部抜粋

【スローガン】**みんなの力で 明るい未来へ 職場と創る 私鉄産別運動**

～ 交通政策要求実現、平和運動強化 ～

◆22秋闘について

22秋闘は、**組織・職場総点検闘争**として取り組みます。この取り組みは、労働協約が守られているか、労働組合組織が正しく機能しているかなどを検証し、次年度の労働協約闘争に反映していくための大切な取り組みです。組合役員と職場が連携し、組合員一人ひとりが参加して取り組みを進めます。

◆23春闘について

23春闘は、感染症の終息が見通せないなど、厳しい状況が続くことが予想されます。しかし、いかなる困難に見舞われようとも職場からの運動を積み重ね、さらなる組織強化をはかり、22春闘総括をふまえ、私鉄産業別統一闘争のもと、全国が一丸となりたたかっていきます。

◆政治政策と交通政策

「森屋隆」組織内国会議員をはじめとする各級議員と連携を強めながら、迅速に対応してきました。今後も、「政治政策」と「交通政策」を車の両輪として、持続可能な産業とするため、産業基盤の強化、安全の確立、雇用の確保、労働環境の改善に向けた取り組みを強化していきます。

◆私鉄産別運動の強化

長期化している感染症の影響で産業全体が回復途上であり、依然として厳しい状況が続いていますが、このような時だからこそ、労働組合の使命を果たし、より弱い立場の人に寄り添い、**「一人でも泣いている者がないように」**の理念のもと、私鉄産別運動を強化し、全国の仲間とともに、持続可能な魅力ある産業をめざし、着実に前進していきます。

※私鉄総連の運動方針（案）は、イントラネットの西鉄労組掲示板でご覧いただけます。

第3回ユニオンスクール

■開催日：6月21日（火）
■場　所：組合本部

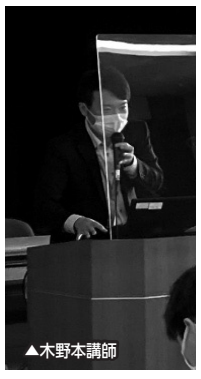
マイカー共済と自動車事故発生時の対応について学習

6月21日、組合本部で、第3回ユニオンスクールを開催し、中央委員・特別中央委員ほか、約60名が出席。今回は、第3回福祉活動推進セミナーとして、こくみん共済coop福岡推進本部の長岡亮太氏と、損害共済金部の木野本達朗氏から講演を受けた。

まず、長岡氏から、自動車損害補償であるマイカー共済の内容と必要性について説明があり、私鉄総連としての団体割引率が2022年11月以降、12.5％から27.5％に引きあがることが紹介された。次に、木野本氏が、事故から解決までの流れや過失割合について解説し、損害賠償請求や事故をスムーズに解決するには弁護士費用特約が必要であると訴えた。

参加者からは、「割引率の変更にあわせて保険を見直そうと思った」「事故の過失割合の話は興味深かった」といった声があがった。

▲受講風景


▲木野本講師

▲長岡講師

にしてつグループワーカーズ組合員学習会

■開催日：6月5日（日）
■場　所：西鉄イン福岡

西鉄グループの経営状況などを学習

西鉄グループの労働組合で構成される「にしてつグループワーカーズ協議会」は、6月5日、西鉄イン福岡で「2022組合員学習会」を開催し、加盟組合から約50名の組合員が出席。西鉄労組からは、古賀執行委員長をはじめ、9名が出席した。

学習会では3講座設けられ、選挙制度の仕組みと課題、こくみん共済coopの各種共済制度、西鉄グループの経営状況について、講演がおこなわれた。また、来賓として、組織内議員である「佐々木徹」福岡県議会議員（西鉄旅行出身）と「浜口恒博」北九州市議会議員（西鉄バス北九州労組出身）、そして7月の参議院議員選挙において福岡選挙区で立候補予定の「古賀ゆきひと」参議院議員がお越しになり、日ごろからの支援に謝意を示すとともに、参議院議員選挙での支援を訴えた。

【2022組合員学習会】

◆第1講座「私が考え、私が選ぶ」
連合福岡　企画・政治局　副事務局長
豊福明子 様

◆第2講座「保障設計運動と各種共済制度について」
こくみん共済coop福岡推進本部
事業推進部福岡支所長 中村俊哉 様

◆第3講座「西鉄グループの経営状況について」
西鉄経理部 連結IR課長
熊埜御堂（くまのみどう）功 様

▲決意を訴える古賀参議院議員

分会トピックス

あなたの声にズームイン!! 国政報告会に参加

貝塚分会

貝塚分会は、乗務・電気・線路・車両と異なる職種が集まった分会です。今年の春闘時期には、春闘激励メッセージを募集し分会内で掲示するなど、日々、組合活動に取り組んでいます。直近では、第26回参議院選挙（福岡選挙区）組織外候補である「古賀ゆきひと」氏の「あなたの声にズームイン!! 国政報告会」に参加し、そこで配布されたリーフレットを組合員に配布しました。今後も、「つじもと清美」準組織内候補同様、組合員だけではなく家族、知人にも支援を広げていきたいと思います。

【教宣部長　山口 剛】

若手組合員中心に勉強会

線路技術分会

線路技術分会では、6月、若手組合員を中心に、組合活動の意義についての勉強会をおこないました。机などの消毒、飛沫対策ボードの設置、マスク着用といった感染対策を徹底しながら、少人数で数回にわたっておこないました。若手組合員ならではの素朴な疑問や、組合活動への熱い思いを受け取り、組合活動への理解をより一層深め合うことができ、有意義な勉強会になりました。7月には参議院選挙を控えており、若手をはじめ組合員の協力が不可欠となりますので、分会内で想いを一つにし、一致団結して組合活動に携わっていきたいと思います。

【分会長　大津留邦幸】

定年延長基本態度（案）説明を終えて

筑紫工場分会

65歳までの定年延長基本態度（案）ついて、5月11日に職場オルグがおこなわれました。40歳～50歳代が増える中、職場オルグでも様々な意見が出され、分会内でもオルグの後に意見交換会をおこないました。生活環境や体調の変化など、今後の不安もある中での定年延長となるため、組合員の皆様からは様々な意見が出ていましたが、組合の基本態度（案）をご理解いただけたと思います。また、7月の参議院選挙での「つじもと清美」氏への支援を呼びかけました。

【教宣部長　藤野寛士】

組合本部 7月スケジュール

◆4日（月）…専従者会議
◆5日（火）…医療共済幹事会
◆7日（木）…事務局会議
◆11日（月）…執行委員会
◆19日（火）…医療共済幹事会
◆20日（水）…中央委員会

※急遽変更となる場合があります。